

東三河南部構想区域における＃８０００の周知方法及び活用状況について

資料 6

1 概要

令和 6 年度 第 1 回 東三河南部構想区域 地域医療構想推進委員会において、「適正受診に関する啓発活動について」という議題を挙げました。
この議題の質疑応答の際、委員から「軽症の方に向けて、＃ 8 0 0 0 を活用してもらえよう、啓発する情報を追加してはどうか。」という内容の意見がありました。
東三河南部構想区域（東三河南部医療圏）で策定した医療計画においても、小児医療対策の課題として挙げている事項であったため、令和 6 年 1 0 月時点における取り組みについて、東三河南部構想区域内の 4 市及び愛知県（医務課）に対して、＃ 8 0 0 0 の周知方法や活用状況に関する確認を行いました。

2 具体的な取り組み内容

（１）周知方法

自治体名	取り組み内容
豊橋市	1. 毎月発行している「広報とよはし」の今月の緊急医のページに記載。 2. 豊橋市ホームページの「救急医療」や「子育て支援課」のページで紹介。 3. 豊橋市小児救急ガイドブック内で紹介。 ※ガイドブックは赤ちゃん訪問実施時及び市内の小児科で配布している。 <補足>これらの取り組みは、英語及びポルトガル語でも閲覧可能。
豊川市	1. 年に一度発行される「ほけん特集号」の便利情報ページに掲載。 2. 母子手帳に愛知県内相談機関として記載。 ※発行時に口頭で案内も行っている。 3. 保健センターホームページに「子どもの急病・夜間時における電話相談の連絡先」として記載。 4. 適正受診に関する掲示物に記載。 例：市民病院のポスター、イオン豊川店のデジタルサイネージ
蒲郡市	1. 蒲郡市健康ガイド裏面に掲載。 2. 母子手帳配布時にマグネットカードを配布。 3. こんには赤ちゃん訪問時に市で作成したチラシを配布。 4. ホームページの「その他の救急医療情報」に掲載。
田原市	1. 健幸カレンダーに掲載。 2. 乳児家庭全戸訪問事業にて市で作成したチラシを配布。
<参考> 愛知県 (医務課)	1. ホームページの「小児救急電話相談事業」について掲載。 ※啓発資材を発行する予定はない。

（２）活用状況

自治体名	取り組み内容
豊橋市	活用していない。
豊川市	4 か月児健康診査問診票に「＃ 8 0 0 0 について知っているか」という質問項目を設定している。
蒲郡市	4 か月児健康診査問診票に国からのアンケート協力として活用している。 ※調査結果は保健事業に活用している。
田原市	田原市は小児の夜間診療体制が整備されていないため、乳児家庭全戸訪問事業等を通して、「当直医・平日夜間診療」や「育児もしもしキャッチ（※）」等とともに紹介している。 （※）あいち小児保健医療総合センターが実施している事業です。 詳細につきましては、参考資料 4 を御確認ください。
<参考> 愛知県 (医務課)	